



試合のライブ映像配信

「元気プロジェクト」など モバイル中継を企画

今年八月、美幌町を会場に開催される第四十四回北海道障害者スポーツ大会の車いすバスケットボール大会で、美幌町内では初のモバイルライブ中継を実施するよう、関係団体が準備を進めている。全道各地から選手が集まるが、美幌町に来られない関係者にパソコンなどで応援してもらおうとの願いだ。近く実行委員会を立ち上げて実現に向かうことになる。

16日に実行委旗あげ

モバイル中継を企画するのは、町内のまちづくりグループ「元気プロジェクト」と美幌町にNTT東日本北海道、中継のノウハウを持つNPO法人STAND。これに太陽グループ、NTTドコ

もも協賛する。カメラ付き携帯電話などを使って大会の様態を映像配信し、NTTドコモのFOMAやパソコンでライブ映像が楽しめるのがモバイル中継。美幌町内ではこれまで実施さ

れたことがない。大会は八月六日で、全道各地から八チームが出場し、七試合を行う。この試合の様態や選手へのインタビューを放映する。映像の一方通行ではなく、受信者側も応援メ

ッセージをパソコンから送れる仕組みだという。会場に来られない関係者も大会に参加できるほか、車いすバスケットの醍醐味を多くの人に楽し

んでもらえるとしている。今年十六日に実行委員会を立ち上げて、本格的な準備を始めることになっている。

町は、今回のモバイル中継に興味を持っており「実際に使ってみて、今後いろいろな場面で活用できないか探りたい」と話している。